

TCE-FC Pro

**ファブロ**

ファブリッククリーナープロ

**取扱説明書****保証書在中**

◀ 製品の取扱説明書は、製品改善のため不定期に更新される場合があります。正確な情報を確認するためには、QRコードをスキャンして最新の説明書を入手してください。

# 目 次

ご使用の前に	01
安全上の注意	01
使用上の注意	04
各部の名称	05
付属品	07
<b>使いかた</b>	<b>08</b>
準備する	08
モードの切り替え	09
掃除する	10
ブラシ付きヘッド・飛び散り防止ヘッド・プロアノズルの使いかた	11
片づける	12
<b>お手入れ</b>	<b>13</b>
お手入れの注意	13
ヘッド・汚水タンク・清水タンク—毎使用後—	14
本体—汚れたとき—	14
<b>こんなときは</b>	<b>15</b>
故障かな?と思ったら	15
保管のしかた	16
廃棄について	16

製品仕様	17
保証規定	18
保証書	18

# ご使用の前に

## 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことと示す記号です。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています



- 電源プラグのほこりは定期的にとる  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む  
ショートによる火災・感電の原因になります。



- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
火災・感電・けがの原因になります。



- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電・やけど・けがの原因になります。



- 乳幼児に電源プラグを触れさせない  
けが・感電の原因になります。
- 電源コードを束ねて通電しない  
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷付けない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
- 収納時に電源コードを本体に巻き付けない  
傷付けたり、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしない  
→ 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。 ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損した場合は、製造業者またはその代理店、もしくは同等の有資格者にご相談ください。</li> <li>コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。</li> <li>交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。</li> <li>スプレーをかけたり、吸わせたりしない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)</li> <li>引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど)、可燃性のものを吸わせない</li> <li>油煙や湯気を吸わせない</li> <li>乾いたほこりなどを吸わせない</li> <li>可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない 吸い込むことや火災の原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜かないと、火災・感電・発煙のおそれがあります。 <b>【異常の例】</b> (1)異常な音やにおいがする (2)電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる 使用を中止し、お買い上げの販売店までご連絡ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理に関しましては、お買い上げの販売店までご相談ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の中や水まわり、風呂場などぬれる おそれのある場所では絶対に使用しない</li> <li>本体を水に浸泡したり、かけたりしない 火災・感電の原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>この機器は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子どもを含む)が単独で機器を用いることを意図しておりません</li> <li>子どもがこの機器で遊ぶことがないように、注意してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症の疑いがある汚れやにおい、吐しゃ物などを吸引しない 感染症の原因になります。</li> <li>汚水タンクを取り付けずに運転しない けがの原因になります。</li> </ul>



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損壊が発生するおそれがある内容を示しています。

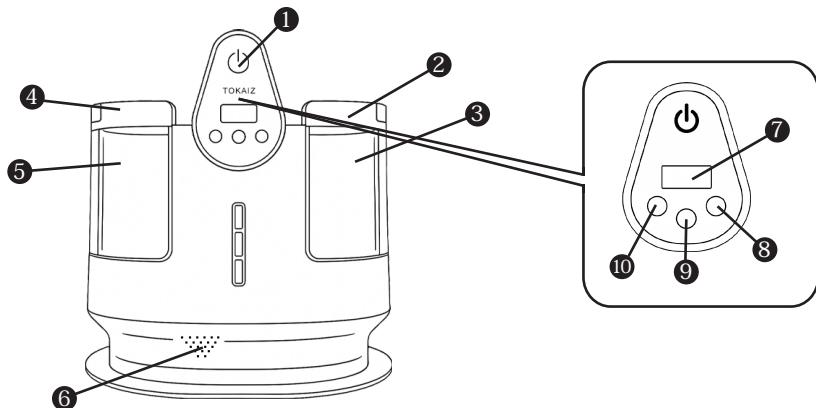
	<ul style="list-style-type: none"><li>掃除以外の用途に使用しない 異常が発生・火災の原因になります。</li><li>業務など家庭以外で使用しない 本製品は家庭用として設計されています。 業務など家庭以外で使用すると、火災などの原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>火気・暖房器具などに近づけない 吹き出す排気で暖房機器の炎が大きくなり火災の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>ノズルに異物が詰まつたらすぐに運転を中止する</li><li>異常を察知したときは、運転を中止する</li><li>処置のおそれがあるときは、汚水タンク内、清水タンク内、 ホース内、ハンドツール内の水を捨てる 故障の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>乗ったり、寄りかかったりしない</li><li>幼児の手の届く範囲では使用しない</li><li>子どもに遊ばせない けがの原因になります。</li><li>屋外では使用しない 故障してショートや火災の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>吸い込み口がふさがれたまま運転を続けない</li><li>排気口をふさがない 加熱による変形、故障、火災の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、 必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</li><li>使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電の原因になります。</li></ul>

## 使用上の注意

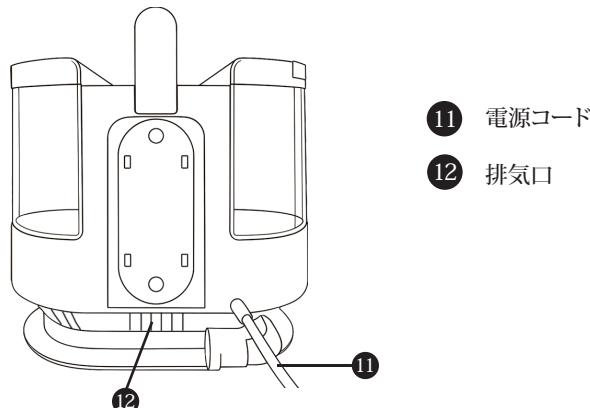
---

- 清水タンクには40°C以下の水道水またはアルカリイオン水以外を入れないでください。  
次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
  - ・乾いたほこりなど
  - ・多量の粉(消火器の消火剤など)
  - ・多量の砂、小石など
  - ・多量のごみ
  - ・針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど
  - ・大きなごみ
  - ・ビニール袋やストッキングなど内部に詰まりやすいもの
- 本製品は防磁設計ではありません。  
本製品の近くに時計や磁気カード(クレジットカード)など磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。
- 清水タンクの水位が低い状態で汚水を吸わないでください。
- 美術工芸品、水に弱い纖維(絹、アセテート、レーヨン、キュプラなど)、水に弱い製品(毛皮、皮革製品、和装品、白木の家具、二塗りの木製品、漆器など)、傷つきやすい面(フローリング、テーブルなど)、たたみには使用できません。  
長時間放置すると水分が蒸発して汚れが固着し、タンクが変形する原因になります。  
放置しないでください。
- 汚水タンクに汚水を入れた状態で、本体を大きく傾けたり、激しく振り回したり、落としたりしないでください。汚水タンク内の汚水がもれて、床などを汚損したり、クリーナー内部に入り込んで故障する原因になります。  
本体を長時間同じ場所に置かないでください。床面が変色、変質する原因になります。
- 汚水タンク内で泡立ちが多い場合は、直ちに運転を停止し、汚水を速やかに捨ててください。  
放置すると故障の原因になります。
- 本体を毛足の長いカーペットなどにおくと、排気口をふさぎ、運転が停止するおそれがあります。
- 寒冷地では、作業終了後は必ずタンク内、バキュームホース内、付属ヘッド内の残水を排出し、凍結しない場所に保管してください。凍結により損傷することがあります。
- 吸引中、バキュームホース内に回収物が詰まつた場合は、直ちに使用を中止して詰まりを解消させてください。故障の原因になります。
- 吸引中、本体を激しく振ったり、急激に傾けないでください。  
汚水タンクの汚水が、クリーナー内部に入り込み、故障の原因になります。

## 各部の名称

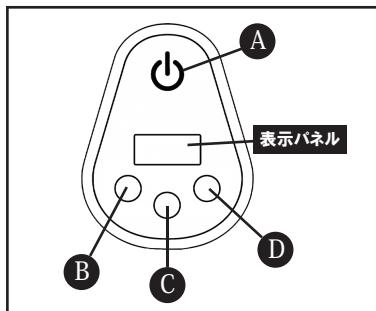


- |             |              |
|-------------|--------------|
| ① 電源スイッチ    | ⑥ スピーカー      |
| ② 清水タンクキャップ | ⑦ 表示パネル      |
| ③ 清水タンク     | ⑧ 吸引モード      |
| ④ 汚水タンクキャップ | ⑨ 水温・スチームモード |
| ⑤ 汚水タンク     | ⑩ スプレー モード   |



※清水ポンプは本体に内蔵しています。  
※持ち運ぶ際はホルダーにハンドツールを固定し、  
電源コードが邪魔にならないようにまとめてください。

# ランプ表示の意味



## 1. 電源スイッチ( A ボタン)

ランプ色	吸引力
赤色ランプ点滅	待機状態
赤色ランプ点灯	起動状態
赤	強モード
消灯	オフ

## 2. 水温・スチーム表示( C ボタン)

ランプ色	表示パネルの白色表示	水温
緑	Lo	常温水
青	40°C	約40°C
青	60°C	約60°C
赤	100°C	100°C スチーム
消灯	00	オフ

C ランプをオフにすると、スプレーモードランプ( B ボタン)も消灯します。

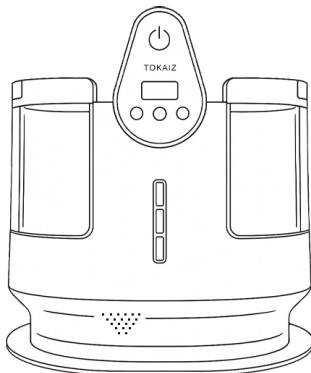
## 3. 吸引力の表示( D ボタン)

ランプ色	吸引力
緑	弱モード
青	中モード
赤	強モード
消灯	オフ

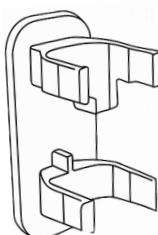
## 4. 表示パネルの表示

表示パネルの白色表示	状態
E1	汚水タンクが満水です
E2	清水タンクが装着されていません
E3	汚水タンクが装着されていません
E4	清水タンクに水が入っていません

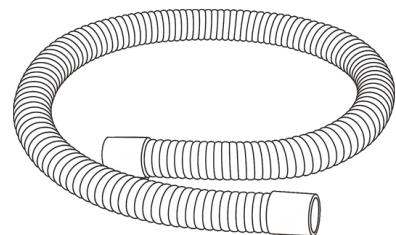
## 付属品



A



B



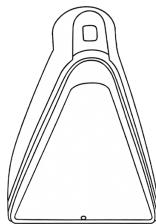
C



D



E



F



G



H



I



J



K



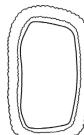
L



M

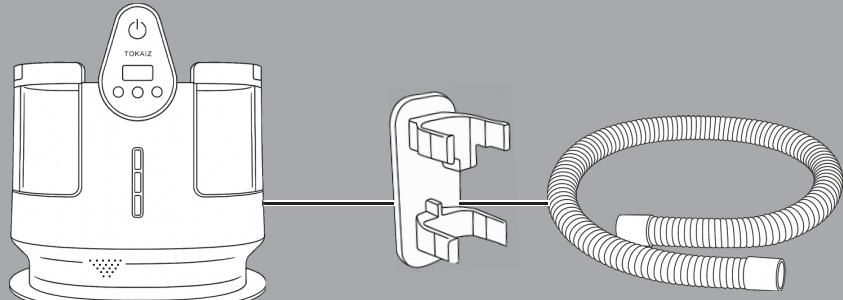


N



O

## パーツ構成



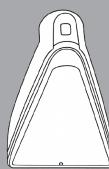
A

B

C



D



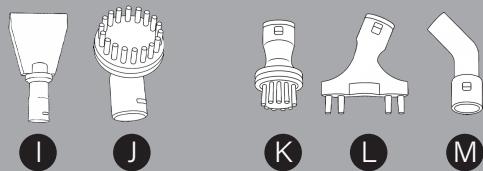
E



F



G



I

J

K

L

M



H



N

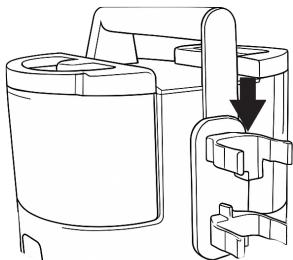


O

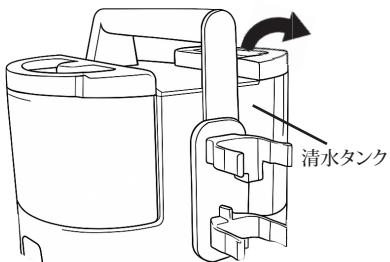
# 使いかた

## 準備する

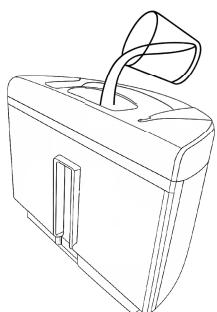
### ① ホルダーを取り付ける



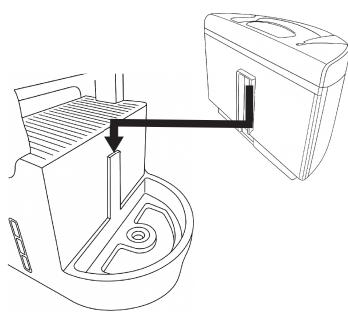
### ② 清水タンクを本体から取り出



### ③ 清水タンクに水道水を満水線まで入れ、キャップを取り付ける

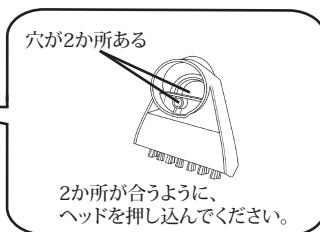
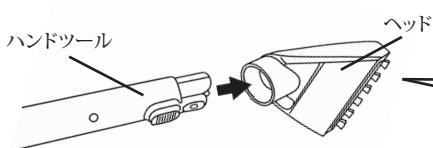


### ④ 清水タンクを本体のスライドに合わせて取り付ける



- ・清水タンクのキャップは確実に閉めてください。
- ・清水タンクに水道水またはアルカリイオン水以外を入れないでください。故障の原因となります。
- ・清水タンクの水は使用後に捨ててください。水が入ったまま保管すると、水もれやかびの原因となります。
- ・清水タンクを通すときは、傾けないでください。水がこぼれることがあります。

### ⑤ ハンドツールにヘッドを接続する



- ホースは奥までしっかり差し込んでください。水もれすることがあります。

## モードの切り替え

### 吸引力の調節

吸引力ボタンを押す回数	対応モード
1回	弱モード
2回	中モード
3回	強モード
4回	オフ

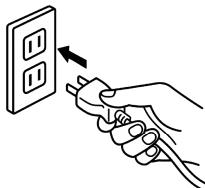
### 音声ガイド内容一覧

音声内容	対応機能・意味
電源が入りました	起動時
常温モードです	常温水モードに設定した時
温水を準備中です。しばらくお待ちください	水温40℃モードに設定した時
設定温度に達しました。ご使用いただけます	水温が40℃に達した時
高温水を準備中です。しばらくお待ちください	水温60℃モードに設定した時
設定温度に達しました。ご使用いただけます	水温が60℃に達した時
スチームを準備中です。しばらくお待ちください	スチーム100℃モードに設定した時
スチームの準備が完了しました。ご使用ください	スチーム温度が設定温度に達した時
スチーム機能をオフにしました	スチーム機能をオフにした時
吸引力モード:弱です	吸引を弱モードにした時
吸引力モード:中です	吸引を中モードにした時
吸引力モード:強です	吸引を強モードにした時
吸引力モードをオフにしました	吸引を停止した時
汚水タンクが満タンです。清掃が必要です	汚水タンクが満杯になった時
電源がオフになりました。汚水タンクを清掃してください	電源オフ時
汚水タンクが取り付けていません	本体が汚水タンク未装着を検知した場合
清水タンクが取り付けていません	本体が清水タンク未装着を検知した場合
清水タンクの水がありません。補充してください	清水タンクの水が不足時

# 掃除する

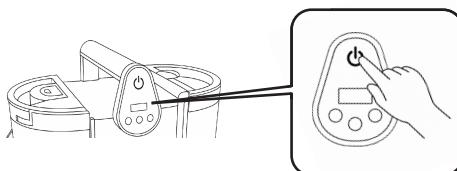
## ① 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセントに差し込んでください。



## ② 電源を入れる

電源スイッチを長押し、電源を入れてください。

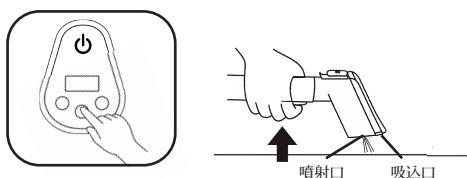


## ③ 清水を散布して汚れを浮かせる

噴水ボタンを押し、噴射レバーを引いて清水を散布してください。  
汚れに水を当てることで、汚れを浮かせることができます。

噴水ボタンは、  
緑(常温) → 青(40°C) → 青(60°C) → 赤(100°Cスチーム) → オフ  
の順に切り替わります。  
用途に合わせて水温を選んでください。

噴射レバーを放した直後は水滴が垂れる場合があります。  
同じ場所に連続して水を散布せず、水散布後は速やかに水分を吸い取ってください。  
水分が生地の奥に残ると、カビやにおいの原因になります。



## ④ 水分をよく吸い取る

<清水を散布しながら吸う>

使用前に吸引モードに切り替えてください。

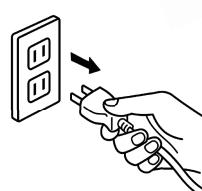
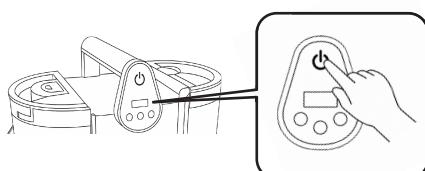
吸込口を汚れに軽く押し付けながら  
ハンドツールを手前に引き、  
水と汚れを吸ってください。

使用するときは、ヘッドを立ててください。  
立てて吸わないとうまく吸い込めないことがあります。



## ⑤ 電源を切る(運転停止)

電源スイッチを押し、電源を切ってください。



## 加熱の原理：

該当商品は、安全のために、直接に清水タンクの水を加熱することではありません。

商品にはヒーターが内蔵されております。ヒーターの位置は本体両タンクの間にあります。

実際加熱の流れは、

- 1.機械を起動して、温度を設定するとヒーターが加熱し始まる
- 2.噴水ボタンを押して清水タンクの水が噴水ノズルまで吸引される
- 3.ヒーターを経過した水はヒーターに加熱される
- 4.加熱された水は噴水ノズルから出るという流れです。



警告

- ・お湯またはスチームは25～30秒ほどで加熱が完了可能です。加熱時間は、周囲の温度や使用する水温により変動する場合があります。
- ・加熱完了までパネルが点滅し続けるのは正常です。ご了承ください。
- ・常温の水がホースに溜まっている場合があるので、排出必要があります。  
お湯＆スチームが出るまで押し続けてください。
- ・もし2分間連続押し続けてもお湯＆スチームが出ない場合、ぜひカスタマーサポートにご連絡ください。
- ・もしブラシヘッドは掃除をされるのに遠く離れたら、温度損失の可能性があります。  
より徹底的に掃除できるように吸込口を汚れに押し付けながら手前へ引いてください。
- ・スチームの温度が高いため、やけどのご注意ください。

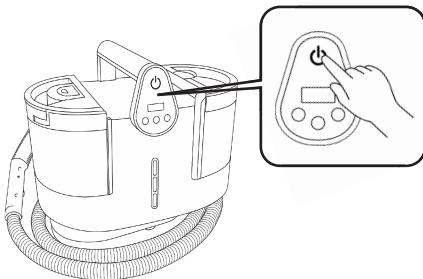
本製品は清水のみを噴射して使用する設計です。

洗浄剤や薬剤を噴射する機能はありませんので、タンクには水以外を入れないでください。

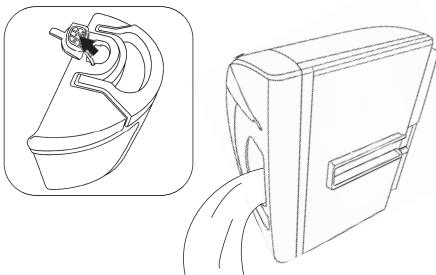
発泡性の高い洗剤を使用すると、泡が内部に入り込み故障の原因となりますので使用しないでください。

# 片づける

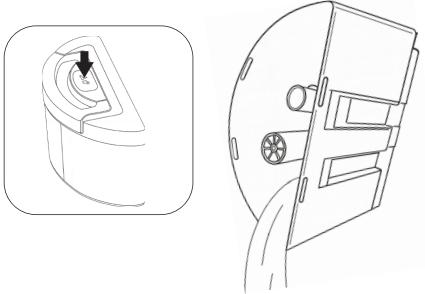
- ① 電源スイッチを押して電源を切る



- ②



清水タンク



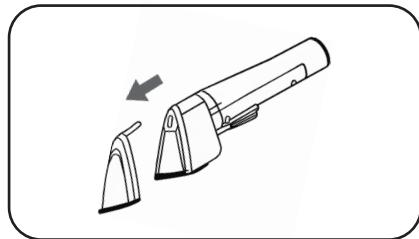
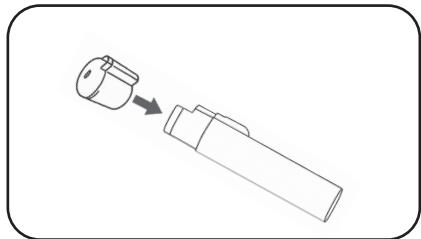
汚水タンク

# お手入れ

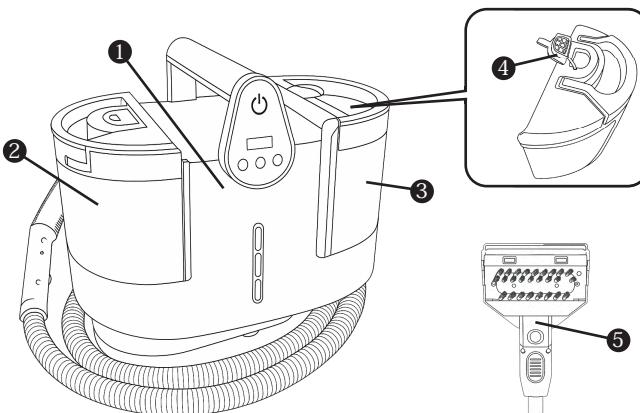
## お手入れの注意



- お手入れは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜いて行ってください。
- 本体・充電アダプターには、水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。



- キャップを装着し、スプレーと吸引モードを同時に作動させると、ホースおよび本体内部の自動洗浄が行われます。
- 本ノズル部分は取り外して水洗いができます。

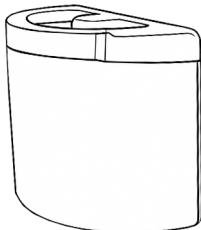


① 本体	汚れの拭き取り
② 汚水タンク	水洗い
③ 清水タンク	水洗い
④ 注水口キャップ	水洗い
⑤ ヘッド	水洗い

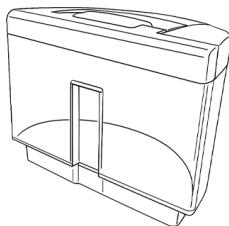
## ヘッド・汚水タンク・清水タンク -毎使用後-

---

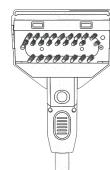
- 本体から取り外し、内部の水を抜いたあと、水洗いして十分に乾かしてください。
- ヘッドに何か詰まっている場合、洗浄して詰まっているものを取り除いてください。
- 汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を使用してください。



汚水タンク



清水タンク

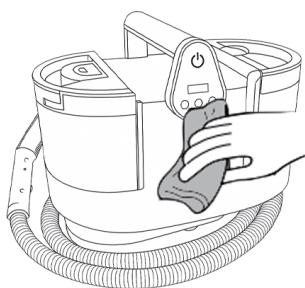


ヘッド

## 本体 -汚れたとき-

---

- 水またはぬるま湯(60°C以下)を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように、かたく絞った布などで水拭きしてください。



- 水洗いをした場合には、風通しのよい日陰などで、十分に乾燥させてから装着してください。
- お手入れした後は、必ず装着してください。

# こんなときは

## 故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前によくお読みの上、以下の点を確認してください。

### ■電源が入らない(動作しない)

— コンセントに電源プラグが正しく接続されていますか?

    電源を切って、電源プラグをコンセントに差し込み直してください。

— 室温が極端になっていませんか?

    温度が一定温度になる場合、保護装置が作動します。

    電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて涼しい場所においてください。

    約1時間後に保護装置機能が解除され再び使用できます。

### ■ヘッドの噴射口から清水が出されない、もしくは吐出量が少ない

— 清掃口が詰まっていますか?

    清掃口を掃除してください。

— 清水タンクが正しく取り付けられていますか?

    清水タンクを正しく取り付けてください。

— ホースの長元に正しく取り付けられていますか?

    ホースを正しく取り付けてください。

### ■吸引しない、もしくは吸引力が弱い

— 電源スイッチがオフになっていますか?

    電源スイッチを押して、オンにしてください。

— 汚水タンクが正しく取り付けられていますか?

    汚水タンクを正しく取り付けてください。

— 汚水タンクにゴミなどが詰まっていますか?

    汚水タンクのフィルターを掃除してください。

— バキュームホースの異常はありませんか?

    バキュームホースに割れ・潰れ・折れ・詰まりなどないか確認してください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店、

またはお客様相談窓口までお電話にてお問い合わせください。



ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

## 点検・手入れに関する注意事項

---

- ご使用前には、本体・電源コード・ノズル部分に破損や変形がないかを確認してください。
- コードやプラグが傷んでいる場合は、修理・交換を行うまで使用しないでください。
- スチームが弱くなった場合や水漏れがある場合は、直ちに使用を中止し、販売店またはカスタマーサポートへご相談ください。
- 長期間使用しなかった場合は、再使用前に必ず試運転を行い、異常がないことを確認してください。
- 本製品は安全保護機能として、約45分連続使用すると自動的に運転を停止します。  
再使用する場合は、約15分間休ませてからご使用ください。  
なお、電源プラグを一度抜き差した場合は、この15分間の休止は不要です。

## スチーム孔・タンクのメンテナンス

---

- スチームの吹き出しが詰まった場合は、針やピンなどの尖ったもので突かないでください。  
柔らかい布や綿棒などでやさしく清掃してください。
- タンク内に水あかがたまつた場合は、水を入れて軽くすすいだあと、よく乾燥させてください。
- 清掃後はタンク内を完全に乾かしてからふたを閉めてください。湿ったまま保管するとカビや異臭の原因となります。

## 保管のしかた

---

- 本体を保管する際は、汚水タンク、本体内部の水を必ず捨ててください。
- 氷点下以下になるような場所に保管しないでください。
- 乾燥した場所に保管してください。

## 廃棄について

---

- 製品を廃棄する場合は、小型家電製品として、  
お住いの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

# 製品仕様

型 番	TCE-FC Pro
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格入力	1500W
汚水タンク容量	約1250ml
清水タンク容量	約1800ml
使用温度範囲	0~50°C
製品寸法	約33.5 × 32 × 23.8 cm
ホース長さ	約1.8m
製品質量	約4.5kg
電源コード長さ	約5m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

# 保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたします。
- 2)次のような場合は保証期間内でも保証対象外になります。
  - (1)異常電圧による故障及び損傷。
  - (2)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
  - (3)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - (4)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
  - (5)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。

- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)弊社は、いかなる場合でもご購入者様の逸失利益、間接損害、特別損害、弁護士費用その他の損害を賠償しないものとします。

## 保証書

型番：TCE-FC Pro

保証期間：本体1年間

お名前

ふりがな

様

ご住所

電話番号

〒

お買い上げ年月日

年　月　日

注文番号

○お問い合わせ先

## 株式会社万通商事

住 所： 〒273-0011 千葉県船橋市湊町3-11-7

お問合せ電話番号： **0120-090-627**

受付時間： 平日：10:00~19:00  
祝日：10:00~17:00  
(土・日・年末年始・弊社休業日を除く)

ホームページ： [www.tokaiz.jp](http://www.tokaiz.jp)

本書は日本国内においてのみ有効です。  
THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.

※本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。



